

令和4年度 第1回 八千代市上下水道事業運営審議会会議録

開催日時 令和5年2月2日(木)  
午後2時 開会 午後3時7分 閉会  
開催場所 八千代市上下水道局 2階 大会議室  
事務局から 上下水道局新庁舎整備の内容  
の報告  
議 題 (1) 令和3年度決算の報告について  
(2) 第2次八千代市水道事業経営戦略実施計画及び、第2次八千代市公共  
下水道事業経営戦略実施計画の令和3年度取組状況の報告について

出席者名

出席委員	袖 澤 利 昭	委 員
	森 中 祐 治	委 員
	齊 藤 幹	委 員
	小 倉 久 子	委 員
	岩 佐 行 利	委 員
	及 川 富士雄	委 員
	高 羽 宏	委 員
	大 内 総一郎	委 員
	梶 原 則 男	委 員
	菖蒲澤 正 子	委 員

事務局

豊 田 和 男	事業管理者
大 澤 利 和	上下水道局長
永 沼 浩 一	上下水道局次長
萩 野 光 誠	経営企画課長
宮 崎 裕 治	給排水相談課長
佐 藤 淳 也	上水道課長
吉 田 勝 祐	上水道課主幹
鎮 目 明 央	下水道課長
鹿 野 浩 一	下水道課主幹
岡 村 夏 彦	経営企画課副主幹
工 藤 拓	経営企画課主査補
矢 越 崇 晃	経営企画課主事
飯 島 香世子	給排水相談課副主幹
石 塚 貴 彦	上水道課副主幹

西 村 政 則 上水道課主査  
 松 川 佳 孝 上水道課主査補  
 笠 川 滋 史 下水道課主査  
 森 田 佳 宏 下水道課主査

公開・非公開の別 公 開  
 傍 聴 人 1 名 (定員 3名)  
 所管課名 上下水道局経営企画課  
 電話番号 0 4 7 ( 4 8 3 ) 6 5 7 2 内線 2 8 0 3

(会議録)

事業管理者挨拶  
 職員紹介

【事務局からの報告】 上下水道局新庁舎整備の内容

萩野経営企画課長	<p>上下水道局新庁舎整備の内容についてご報告させていただきます。事務局からの報告事項でございますが、以前の審議会でもご説明させていただいておりました、上下水道局庁舎の移転が今年の11月に完了いたしましたので、新庁舎の整備内容についてご報告させていただきます。</p> <p>右上に、報告資料と記載された資料の1ページをご覧ください。</p> <p>旧庁舎の概要と移転先でございますが、これまで使用しておりました旧上下水道局庁舎は昭和47年に建築され50年が経過し、老朽化が進み、また耐震性も不足していたため、市役所本庁舎の第2別館として使用していた建物を増・改築し、このたび移転いたしました。</p> <p>1ページの下の方に記載しております、新庁舎整備の概要をご説明いたします。</p> <p>構造は鉄筋コンクリート造りの地上2階建て、延床面積が2,019.31㎡、全体整備費が約9億2,260万円となっております。その他の費用といたしまして、第2別館と屋外にある倉庫を市から所管替えるために要した費用が5,250万円、什器等の購入費用が約3,685万円となっております。供用開始日は今年の11月14日でございます。</p> <p>2ページをご覧ください。新庁舎の特徴でございます。</p> <p>1点目の「災害への備えの強化」でございますが、本庁舎は震度7程度</p>
----------	---

<p>矢越経営企画課主事</p> <p>高羽委員</p>	<p>までの耐震性や停電時に庁舎機能を72時間維持できる非常用発電設備を備え、予期せぬ災害発生時においても、迅速な災害対応が可能となっております。</p> <p>2点目の「環境に配慮した施設」でございますが、具体的には、エコガラスの導入により、建物の断熱性能が上がり、効率のよい冷暖房を行うことができるほか、高効率空調及び調湿外気処理機（デシカント空調）を採用し、除湿時に過冷却や再加熱を必要としない等の省エネ対応となっております。</p> <p>3点目の「業務委託先事業者の事務所の集約化」でございますが、水道料金・下水道使用料の徴収業務の委託業者であります、第一環境株式会社と、24時間体制での漏水等の緊急時対応及び、給水装置工事申請等の窓口業務の委託事業者であります株式会社八千代市水道サービスの事務所を集約しています。</p> <p>料金徴収や水道管の修繕など、上下水道に関わる窓口をワンストップ化することで、市民サービスの向上が図られていると考えています。</p> <p>続きまして、新庁舎の外観の写真をご覧ください。</p> <p>右側の青色の点線で囲われている部分が既存の第2別館を改築した部分でございます。左側の赤色の点線で囲われている部分が今回増築した部分となっております。</p> <p>3ページをご覧ください。こちらが新庁舎の1階の平面図になっております。</p> <p>左側の青色の点線で囲っている部分が既存第2別館の改築部分で、右側の赤色の点線で囲っている部分が、増築部分になっております。増築部分の1階に、市民の方の利用が多い業務スペースを整備しております。</p> <p>次の4ページであります。2階の平面図になります。</p> <p>2階の増築部分は、水道と下水道事業全体の業務スペースとなっております。</p> <p>上下水道局庁舎整備の内容についてのご報告は以上となります。</p> <p>ただいま報告いたしました内容について、何かご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>新庁舎の耐震性について、I s値はどれぐらいになっているのでしょうか。</p>
------------------------------	--

工藤経営企画課主査補	<p>ここの庁舎の I s 値ですが、既存の第二別館部分につきましては、I s 値 0.6 を満たすような形になっております。新たに増築された部分につきましては、I s 値 0.75 を満たすような形で整備されております。</p>
高羽委員	<p>どうもありがとうございます。</p>
矢越経営企画課主事	<p>他に何か、ご意見ご質問等ありますでしょうか。これ以降は、議事となります。八千代市上下水道事業運営審議会条例第 5 条第 1 項の規定により、会長が議長となりますので、議事の進行を袖澤会長にお願いいたします。</p>
袖澤議長	<p>袖澤です。よろしく申し上げます。</p> <p>まず、新庁舎完成おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。今年 2023 年は、100 年前の 9 月 1 日に関東大震災が起きました。そういう意味でも、本来、上下水道局というのは、綺麗な水と、あと、排水処理というのが主な仕事だと思うんですが、近年の日本ではゲリラ雨とか集中豪雨、環境問題とかいろんな問題が起きて参りました。そのためのいろんな防災、減災のための仕事も、上下水道局が多く増えていくと思いますので、皆さん一致団結して、頑張ってくださいと思います。それから、コロナ禍で、去年は書面での審議会でしたが、今年はこのように新しいところで、対面の審議会ができるっていうのは非常に、喜ばしいことだと思っています。委員の皆さん、どしどしご質疑、あるいはご意見をいただいて、この会を盛会に終わらせたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

【議題1】 令和3年度決算の報告について

袖澤議長	<p>議題1「令和3年度決算の報告について」、事務局から説明をよろしくお願ひします。</p>
萩野経営企画課長	<p>事務局より令和3年度決算の報告をさせていただきます。上下水道局では、水道事業と公共下水道事業の二つの事業を行っておりますが、それぞれ別の会計となっております。</p> <p>初めに、水道事業の決算についてご説明をいたします。</p> <p>1ページをご覧ください。1ページの業務量の表になりますが、年度末の給水人口につきましては、20万1,846人で、前年度に対して1,024人、0.5%増加し、普及率は99.2%で、前年度に対して0.1ポイント増加いたしております。</p> <p>次に、今年度の年間給水量は、1,968万8,946㎥で、前年度に対して14万6,057㎥、0.7%減少し、1日最大給水量は、5万9,266㎥で、前年度に対して3,044㎥、4.9%減少いたしました。年間有収水量は、1,897万5,923㎥で、前年度に対し、1万9,864㎥、0.1%減少し、有収率は96.4%で、前年度に対して0.6%増加いたしました。</p> <p>続きまして、2ページをご覧ください。収益的収支の説明となります。</p> <p>収益的収支は、施設の維持管理など、日々の営業活動を行うための費用と、そのための収入の状況を表しております。</p> <p>収入につきましては、営業収益は34億7,602万9千円、そのうち、給水収益は32億8,212万8千円となっております。営業外収益は7億5,954万7千円、そのうち納付金は3億4,059万9千円であり、収入の計は42億3,557万6千円となっております。</p> <p>支出につきましては、営業費用が33億6,974万1千円となっております。営業費用の主なものは、管路施設の維持管理費、受水費、事務経費、減価償却費、職員人件費などによるものでございます。営業外費用は1億8,348万3千円で、企業債の支払利息が主なものとなっております。</p> <p>以上、支出の計は35億5,322万4千円であり、収入から支出を差し引いた純利益は6億8,235万2千円となっております。なお、過去10年の給水収益と当年度純利益の推移は、下の折れ線グラフの通りとなっております。</p> <p>次に、資本的収支でございます。</p>

資本的収支とは、新たな施設の整備や既存施設の更新を行うための費用と、その財源となっております。

収入の計は14億3,469万9千円で、内訳は企業債10億5,800万円、工事寄附負担金3億7,603万9千円などとなっております。

支出の計は30億857万8千円で、内訳は建設改良費22億5,403万円、及び企業債償還金7億5,454万8千円となっております。なお、建設改良費のうち約9億2,600万円が管路耐震化事業に関わる事業費、約9億4千万円が村上給水場施設改良事業に関わる事業費となっております。

資本的収支で生じた15億7,387万9千円の不足につきましては、過年度損益勘定留保資金、減債積立金など、内部留保されている資金で補填しております。

4ページをご覧ください。企業債と保有資金残高のご説明となります。

上下水道局では、浄・給水場や管路の耐震化、老朽化対策のための施設の更新工事を進めておりますが、自己資金だけでは事業費を賄うことが困難であるため、企業債の借入れを行っております。

令和3年度の借入額は10億5,800万円、年度末企業債残高は13億6,630万8千円、年度末保有資金残高は31億5,258万9千円となっております。下段のグラフの青い折れ線がお示しするとおり、近年、企業債残高は増加傾向となっております。

なお、決算上は年度末保有資金残高は大きく増加しておりますが、その理由といたしましては、村上給水場施設改良事業の工期を延期したことや、次年度への繰越し事業があることによる影響がございます。

5ページをご覧ください。水道管路の布設状況及び耐震化の状況となっております。

令和3年度末における管路の布設状況は、導水管、送水管及び配水管のすべての管の延長の合計が708.86kmとなっております。耐震管の状況につきましては、耐震管の年度末延長は431.81kmとなり、本市における水道管の耐震化率は60.9%となっております。なお、令和2年度の千葉県全体の水道管の耐震化率の平均は25.9%となっております。八千代市の耐震化率は県内でも高い水準となっております。

また、市役所や消防本部、警察署、保健センター、病院、公民館、小・中学校などの避難場所や災害対応活動の拠点を重要給水地点と位置付け、ここに繋がる管路の耐震化を優先的に進めており、この重要給水施設への管路の令和3年度末の耐震化率は84.6%となっております。

以上で水道事業会計の説明を終わります。

続きまして、公共下水道事業の決算状況をご説明いたします。

6ページをご覧ください。まず、処理区域内人口は18万8,291人で前年度に対して938人、0.5%増加し、普及率は92.5%で前年度と同様になっております。水洗化率は99.2%で、前年度と同様でございます。年間汚水量は2,174万2,229<sup>m</sup>で、前年度に対して、19万5,366<sup>m</sup>、0.9%減少し、1日平均汚水量は5万9,568<sup>m</sup>で、前年度に対して535<sup>m</sup>、0.9%減少いたしました。年間有収水量は、1,780万9,446<sup>m</sup>で、前年度に対して6万9,017<sup>m</sup>、0.4%減少いたしました。

7ページをご覧ください。収益的収支の説明となりますが、収入につきましては、営業収益は26億2,791万6千円、そのうち主なものである下水道使用料は22億1,489万4千円となっております。営業外収益が7億6,546万1千円、特別利益が8,322万8千円となっております。

以上、収入の計は34億7,660万5千円となっております。支出につきましては、営業費用は31億8,425万7千円となっております。主なものは、流域下水道維持管理費及び減価償却費でございます。営業外費用は1億3,591万6千円となっており、企業債の支払利息が主なものとなっております。

以上、支出の計は33億2,017万3千円であり、収入から支出を差し引いた純利益は1億5,643万2千円となっております。過去10年間の下水道使用料収入と当年度純利益の推移は、下の折れ線グラフの通りとなっております。

次に、資本的収支でございます。

収入の計は23億6,106万9千円で、内訳は企業債10億5,040万円、国庫補助金9億8,749万8千円、負担金2億8,228万円などとなっております。負担金は、雨水に関わる経費等の一般会計からの負担金、八千代1号幹線など他市と共同で運用している施設の整備を八千代市が行ったものに関わる他市からの負担金などとなっております。

支出の計は33億1,053万3千円で、内訳は、建設改良費27億647万3千円、企業債償還金6億406万円であり、収支で生じた不足額9億9,511万3千円につきましては、過年度損益勘定留保資金、減債積立金などの内部留保されている資金で補填しております。

9ページをご覧ください。企業債と保有資金残高の説明でございます。

近年は、八千代1号幹線沿線地域の浸水被害軽減対策に関わる工事などに多くの資金が必要となっており、その財源として、企業債の借入れを行

	<p>っております。今後も、八千代1号幹線沿線地域の浸水被害軽減対策のための管渠布設工事や、その他の地域の道路冠水が発生する箇所における雨水排水施設の整備、老朽施設の更新を行っていくための財源として、企業債の借入を予定しております。</p> <p>令和3年度の企業債の借入額は10億5,040万円、年度末企業債残高は82億260万8千円、年度末保有資金残高は、17億4,572万7千円であり、平成27年度の使用料改定以降、増加傾向となっております。</p> <p>説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。</p>
袖澤議長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、内容につきまして、何か皆さんから、ご意見ご質問等がありましたら、挙手してお願ひいたします。</p>
森中委員	<p>はい。では最初に質問をさせていただきます。八千代市にある秀明大学の教授をしております、森中と申します。よろしくお願ひします。公益会計は一般の企業会計と比べてちょっと難しいところがあるので教えてください。まず、令和3年度、令和4年度で、八千代市全体で財政状態に関して何か特段の変化状況がございましたでしょうか。これをお聞きしたいのは、例えば私が住んでおります居住地の市川市では、市長がですね、小中学校の給食の無償化ということで、財源を一律5%シーリングカットというようなことを打ち出して発表しております。何か特段の事情とかが、これまでの状況と変化するような全体的なことはございましたでしょうか。</p>
萩野経営企画課長	<p>はい。詳細のところは、今、資料持ち合わせてないんですけども、予算編成の方針というのがありまして、そこにつきましては、3年度4年度につきまして、ものすごく大きな変化があったようなことはありませんので、同じような形で、必要なものに経費は使うけれどもなるべく最小の資金で最大の効果を出すようにといった形で引き続き予算は活用している状況であるというふうに考えております。</p>
森中委員	<p>ありがとうございました。何か特段の事情の変化はないということで承りました。それでは、ちょっと教えていただきたいんですが、損益計算書と資本的収支の状況と、損益計算書はその年度年度の収益と費用、資本的収支は、設備関係の弁費というふうに理解しております。例えば、2ページの収入のところの純利益ですね、収益的収支の純利益が書かれていますが、6億8,000万と、損益計算書、3ページの損益計算書の費用の部</p>



<p>岡村経営企画課副主幹</p>	<p>分の減価償却費，減価償却費っていうのは，過去に出資した現金ですから，この令和3年度には現金として支出しておりませんので，15億を足すとキャッシュとして21億手元に残ると。</p> <p>それで資本的収支の15億を損益勘定留保資金で補填して，そうすると6億ぐらい余ると思うんですが，4ページの年末保有資金残高は，ここでは30億。まず，3ページの不足額に関しては，過年度の損益勘定の留保資金ということで，その3年度の留保資金は当然入れてないということですかね。2年度の留保額から補填している。そうすると，3年度分には結構資金として手元に残る計算になるんじゃないかと思うんですが，これはどういうふうに，公共会計をですね，理解する部分で教えていただければと思います。</p> <p>不足額のところに，内部留保されている資金で補填したわけなんですけれども，こちらにつきましては，過去の元年度と2年度で，減価償却費等で残った財源ですね，そちらを使っておりまして，合わせて元年度と2年度で7億弱ぐらいを使っております。それとあと前年の利益の7億8,000万ぐらいを減債積立金というものに積み立てて，3年度中で支払う起債の償還に充てているんですけど，それと同じく7億円ほどを使っておりまして，合わせて大体15億円ぐらいを使ったという形になります。先ほどの15億と7億くらい，大体22億くらい経年で，手元の現金が増えるという形で，そこから不足額に充てて，15億ですかね，そこに積み込むわけなんですけれども，手元の現金は3億ぐらいしか，プラスになってないというところなんですけれども。</p>
<p>森中委員</p>	<p>30億ですね，年度末の保有資金，要はですね，お聞きしたいのは，企業債，借入額，負債ですよ。それが年々累積で，3年度末で136億，4年末で150億ですか，増えるのを抑制を図っているということで，負債は確認できるんですけども，累積の資産，資金がいくらぐらい残っているかというところが，この資料ではちょっと私はわからなかったものですから，負債がどんどん増えていても，一方内部留保がどんどん増えているのであれば，そんなに問題はないと。そこの乖離が広がっているのであれば，問題も少し大きいのかなと。そこの資本の公開の部分が，資料としてわかるのは，年度末保有資金残高というところだけで，それ以外の何か資産はあるんですか。</p>

岡村経営企画課副主幹	<p>現金としてはここに記載がある内容で資金残高で31億とかっていうのがあるんですけども、それ以外に改良をかけて、施設が新しくなってきますのでその分の資産価値としては、どんどん増えているんですけども、昔の資産、ほとんど減価償却している部分が、今、どちらかという機械設備関係なんかはもう償却終わるとか、終わり間近というものが多くなっておりますので、そこら辺で資産価値が残っているかと言われると、少なめなので、そこを、投資をして、現金が減るんですけども、新たに固定の資産として増やしていくような形でまわしていけたらというふうには考えています。</p>
森中委員	<p>なるほど。そうすると企業債の借入れを抑制していく方向で、事業計画もなさってらっしゃるんですけども、設備関係の資産価値は減価償却でその分減ってて、いずれそれを、留保したもので買い換えないといけないと。そうすると、資産は、年度末の保有資金のところだけで考えれば、判断ができるという理解でよろしいでしょうか。</p>
岡村経営企画課副主幹	<p>そうですね、年度末の保有資金で考えていただいて、いいんですけども、あとはちょっと、今、大きな工事としては、村上給水場の改良をしているんですけど、繰越しになっていまして、それが完成するとですね、そこで一時的には大きく増えるというような形で考えておりますが、ちょっとそこが特殊かなというところなんですけれども、概ねおっしゃる通りでございます。</p>
森中委員	<p>ご教示いただいてありがとうございます。理解できました。</p>
袖澤議長	<p>他にどなたか質問ありますか。よろしいですか。では、ないようなので、議題1「令和3年度決算の報告について」を終了させていただきます。</p>

【議題2】 第2次八千代市水道事業経営戦略実施計画及び、第2次八千代市公共下水道事業経営戦略実施計画の令和3年度取組状況の報告について

袖澤議長	<p>議題2「第2次八千代市水道事業経営戦略実施計画及び、第2次八千代市公共下水道事業経営戦略実施計画の令和3年度取組状況の報告について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
工藤経営企画課主査補	<p>第2次八千代市水道事業経営戦略 実施計画及び、第2次八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画の令和3年度の取組状況について、資料2と資料3に基づいて、ご説明いたします。</p> <p>本市の上下水道事業の経営の基本計画でございますが、第2次経営戦略を令和元年度に策定しておりますが、経営戦略に掲げた方針に基づき、今後の取組みをより具体的に示したものとして、実施計画を策定しております。この実施計画に掲げております令和3年度における取組みの実施状況について、ご説明いたします。なお、こちらにつきましては、令和4年の9月に作成し、HP等で公表しているものとなります。</p> <p>時間の都合上、重点的な取組みを中心に説明してまいります。まず、水道事業についての説明と質疑応答を行い、水道事業が終わった後、担当職員を入れ替え、公共下水道事業の説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、水道事業からご説明いたします。資料の2の水道事業の取組状況の2ページと3ページをご覧ください。</p> <p>こちらは、実施計画に掲げている1つ1つの取組み内容と、目標値の有無、それから、実施状況をA、B、C評価で表にしたものです。A、B、Cの評価の基準につきましては、2ページの上の方に記載しておりますが、Aが計画どおり実施した、Bが計画どおりではないが実施した、Cが実施できなかったものとなっております。基本的な評価がこのA、B、Cとなりますが、それ以外にも傍線が、令和3年度における計画が無いもの、米印が令和3年度における計画はありませんでしたが、実施をしたものとなっております。</p> <p>令和3年度は、全部で29項目の取組みを計画に掲げていましたが、22項目がA評価、6項目がB評価、1項目がC評価となっております。</p> <p>また、令和3年度の取組み計画としていなかった1項目につきまして、実施をいたしました。B評価、あるいはC評価となった項目につきましては、その理由を、それぞれの取組み状況に記載しております。</p> <p>それでは、主要な取組み項目の実施状況をご説明いたします。</p>

袖澤議長	<p>8ページをご覧ください。下段の表の「企業債の借入の抑制」につきましては、年々増加する企業債残高を圧縮するために、企業債の借入れを一定の範囲内にとどめることを目標としたものです。令和3年度は、当該年度予算における企業債充当率の上限を62%とする目標値を設定しておりましたが、管路耐震化事業及び村上給水場施設改良事業の財源として、令和4年度への繰越事業の財源も含めて7億8,820万円の借入額となり、企業債充当率は、企業債の対象となる事業費の50.61%となっております。評価はAとなっております。</p> <p>なお、先ほどの決算状況の報告の中でご説明させていただきましたが、村上給水場施設改良事業の工期を延期したことにより、令和3年度の起債充当率は、計画に比べて低いものとなっております。</p> <p>続きまして、15ページをご覧ください。上段の表の「村上給水場施設改良工事」をご覧ください。</p> <p>八千代市内には7つの浄・給水場がございますが、村上給水場につきましては、特に老朽化が著しく、令和元年度から施設の改良工事を実施しております。本工事は、当初、令和元年度から令和3年度までの継続事業として実施しておりましたが、工法の変更等により、工事の進捗に遅れが生じたことから、令和5年度まで工事期間を延伸いたしました。このため、評価はBとなっております。</p> <p>続きまして、17ページをご覧ください。上段の表の取組み項目「非耐震管の入れ替え」につきましては、先ほどの決算状況の報告と説明が重複する部分もございますが、令和3年度は、重要給水施設管路及び老朽管について、延長3,833.2mの改良工事を実施し、管路の耐震化率は60.9%となっております。こちらの目標値としましては、既設管路の更新延長が5.5km、管路の耐震化率が61.4%となっております。この目標値を達成できなかったことから、B評価としております。なお、本事業につきましては、令和2年度から債務負担行為及び繰越を活用し、施工時期の平準化に取り組んでおります。令和3年度は延長5,536.2mを発注し、令和4年度への繰越分を含めると耐震化率は61.7%となります。</p> <p>水道事業の説明は以上となります。</p> <p>ここで水道事業の方の質疑応答の方、お願いできればと思いますので、ご意見ご質問等ありましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問ありましたら、挙手をお願いいたします。</p>
------	--

齊藤委員	はい。非耐震管，その他で，石綿管というのは，まだ布設されているのでしょうか。あったらその箇所を優先的に入れ替え工事をした方がいいのかなと思っているのですが。どうなのでしょう。
佐藤上水道課長	はい。ご質問の石綿管につきましては，ほとんどの管が入れ替えが終了しております。あと約1.5 kmほど残っているんですけども，そちらについては問題がございまして，道路上に入っていないとか，手をつけられない部分について1.5 kmほど未着手のまま残っております。
高羽委員	はい。訂正でございます。約1.4 kmでございました。
高羽委員	はい。すみません。今の質問のところなんですけども，今回非耐震管の入れ替えですか，達成できなかったということなんですけども，その理由は为什么呢。
佐藤上水道課長	はい。目標値61.4%に届かなかった理由としましては主に，平準化というものを取り組んでいくという結果でございます。こちらの経営戦略上で計画していたものが，年度内ですべて終わらせるという数字を載せているのですが，平準化を目標として，繰越しを多くしていますために，その数字に届かなかったというものでございます。今後ですねちょっと経営戦略上の数値，見直しをしまして，平準化を盛り込んだ数値に変えさせていただこうと考えております。
高羽委員	はい。すいません。今の質問のところなんですけども，今回非耐震管の入れ替えですか，達成できなかったということなんですけども，その理由は为什么呢。
高羽委員	そうしますと4年度は目標値をちょっと下げまして，それで平準化されていくということでしょうか。
佐藤上水道課長	令和4年度につきましては，目標値としてはまだ平準化を盛り込んだ数値ではございません。令和5年度から変更して，達成できるような数値に変えさせていただこうと考えています。
高羽委員	4年度の数値もB評価ということになるのでしょうか。
佐藤上水道課長	おそらくBとなると思います。集計してみないと繰越しのところと，また変わって織り込んでどうなるかちょっとわからないのですが，おそらくBとなると考えています。
高羽委員	はい。ありがとうございました。

袖澤議長	他にご質問ありますか。
岩佐委員	<p>15ページの先ほどご説明ありましたように、村上給水場の改良工事なのですが、元年から進めてきてここで、工法の変更ということで、3年度に工法変更の必要性があつて繰越しになったということで、差し支えない範囲で結構ですけど、具体的に工法の変更等ということで、かなり大きな変更があつたのかなというふうに推測していますが、もしご説明いただければ、よろしくお願ひいたします。</p>
佐藤上水道課長	<p>はい。工法の変更というのは主にですね、撤去時におきまして、この不測の時間がかかってしまったものがございます。</p> <p>ただ、仮設材がですね、当時の給水場を建てたときに、存置されていたと、それが邪魔になったために、その仮設の方法を変更したのが1点と、もう一つ、建物の撤去の時にですね、既存の完成図がございまして、そちらで、厚みですとか、そういうものを検討して、この方法でいきましょうということで決定していたんですが、それが想定以上に厚みがあつたため撤去できなかつたと、そのために工法変更したというものがございます。</p>
岩佐委員	わかりました。ありがとうございます。
袖澤議長	<p>他にご意見ありましたら。よろしいですか。</p> <p>では、ないようなので、公共下水道事業の方の説明をお願いします。</p>
工藤経営企画課主査補	<p>下水道の担当職員と入れ替えを行いますので、少々お待ちください。</p> <p>では、続きまして、公共下水道事業の取組状況について、ご説明いたします。</p> <p>資料3の、3ページと4ページをご覧ください。公共下水道事業につきましては、全部で28項目の取組みを計画に掲げていました。このうち23項目がA評価、5項目がB評価となっております。引き続き、重点的な取組み項目の実施状況をご説明させていただきます。</p> <p>6ページをご覧ください。上段の表の取組み項目「ストックマネジメント計画に基づく改築(管路施設)」をご覧ください。こちらにつきましては、今後、標準耐用年数を迎える施設が増加してくることから、施設の点検・調査、改築を計画的に行っていくことが重要な取組みとなっております。本市は、令和元年度に策定した「八千代市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の改築を進めております。令和3年度につま</p>

	<p>しては、八千代台地区の污水管渠改築実施設計及び工事を行ったほか、市内の管渠の点検、調査を行いました。評価はAとなっております。</p> <p>また、7ページの上段にも、「ストックマネジメント計画に基づく改築（ポンプ場施設）」の取組み項目がございますが、こちらにつきましては、令和3年度から令和4年度までの継続事業として、北部污水中継ポンプ場の改築工事を行っております。令和3年度は屋上防水工事を実施いたしましたが、令和3年度中に予定していた機械設備等の工事が実施できなかったため、評価はBとなっております。</p> <p>次に、13ページの「未整備箇所の整備」をご覧ください。こちらは、宅地化された市街化区域に点在している未整備箇所等の整備を進める取組みでございますが、萱田処理分区污水管渠実施設計（詳細）業務委託、下市場污水管渠築造工事委託、大和田新田228-2地先污水管渠築造工事につきまして、記載の理由のとおり繰越を行っておりますことから、評価はBとなっております。</p> <p>続きまして、17ページをご覧ください。「八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）」でございます。こちらは、平成25年に発生した台風26号により、大きな被害をもたらされた八千代1号幹線沿線地域の浸水対策のため、管渠整備を行っている事業となります。この事業は、令和3年度での完了を予定しておりましたが、一部の工事が令和4年度へ繰越したことから評価をBといたしました。</p> <p>経営戦略実施計画の取組状況の説明は以上となります。</p> <p>また、この実施計画につきましては、毎年度ローリングを行い、将来の5か年の計画を策定することとしており、今年度は、令和4年度版の実施計画に基づいて事業を行っております。</p> <p>令和4年度版の実施計画につきましては、水道事業を資料4、公共下水道事業を資料5として配布させていただいておりますが、時間の都合上、内容の説明は省略させていただきます。</p> <p>以上で、議題2の説明を終わります。よろしくお願いいたします。</p> <p>袖澤議長  ただいまの事務局からの説明に対しまして、内容について何かご意見、ご質問等がありましたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>齊藤委員  はい。16ページですね、未接続世帯があると思うんですが、浄化槽かなんかで処理していると思いますが、公共下水道に接続しない理由とか、何かありますか。</p>
--	---

宮崎給排水 相談課長	はい。未接続ということで、いろんな理由がございますが、主なものといましては、下水道が整備された時期と、あと、未接続の住宅等が建築された時期が必ずしも合っていないものですから、浄化槽等で整備されたところに関しては、浄化槽がまだ使える状態の時に、なかなか本下水の方に接続をしていただけておりませんので、訪問調査ということで、その時期を見計らって毎年声掛けをさせていただいているという状況でございます。
齊藤委員	そうしますと、浄化槽の点検とか、年何回あるかわかりませんがありますよね。それと下水道に接続した場合の使用料って言うんですかね、そっちと比べてもやっぱり、浄化槽の方が安いということなんじゃないかな。
宮崎給排水 相談課長	はい。新たに設置する場合ですと、下水道に接続された方が安くなる場合もございますが、すでに浄化槽が設置されている場合については、日常の管理になりますので、そのままお使いいただいた方が安くなるかと考えております。
齊藤委員	わかりました。ありがとうございます。
袖澤議長	他に何かありましたら。
大内委員	八千代市の工場協議会から参加させてもらっています大内と申します、よろしく願いいたします。協議会の会員の中からはですね、下水道施設の更新といいますか、改築にあたって、かなり工事費用の負担を言われているという意見が少し出てるんですが、こういった事業の費用負担っていうのは、民間にも、考えて予定されてるのでしょうか、それとも違った意味の負担ということなんじゃないかな。
宮崎給排水 相談課長	はい。一般の住宅につきましては、改築、接続に対しての資金を無利子で貸し付け等の制度があるんですが、工場等への資金の援助とか、そういったものについては今のところ設定はございません。
大内委員	わかりました。ありがとうございます。
袖澤議長	17ページの雨水施設の整備拡充についてですが、最近の環境の変化で、大雨だったりゲリラ雨による冠水とかあるんですが、実際に、例えば



	<p>こういう25年の台風26号による豪雨についてですね、どのぐらいの被害っていうか、例えば住民に対するそういう避難とか、近くの小学校とか対象になると思うんですけど、そういうところに対しての、例えば、避難した人のための、簡易トイレとか、あるいは飲料水とか、そういうものの備蓄みたいな、そういう対策はやってらっしゃるんでしょうか。</p>
<p>鹿野下水道課主幹</p>	<p>まず、避難所を設営した場合には、その避難所において、トイレの避難所で、下水も壊れてしまわない限り、地震等で壊れてしまった場合は、置型のトイレですとかそういったものは用意しなければならないんですけども、大雨等による避難の場合ですと、基本的に下水道は流れてしまいます。汚水は流れてしまいますのでまずトイレの方は、問題ないというふうに考えてございます。ただし、避難生活が長くなってしまった場合、食料等の備蓄というのは、防災の方と連携をさせていただきまして、体育館ですとか、学校ですとかそういったところにご避難いただいた方に対して、物資を届けていくというような形になってございます。</p>
<p>袖澤議長</p>	<p>それに対してですね、そうすれば、避難者が小学校に避難した場合に、水が、1日1人当たり3L必要です。それが3日ぐらいあれば、どうにかなるっていう考えなんですけど、そのための、例えば飲料水に対する備蓄っていうか、例えば貯水槽を設けるとか、そういうところの、準備はどうなんでしょうか。</p>
<p>佐藤上水道課長</p>	<p>はい。まず飲料水の備蓄につきましては、簡易的なものでいくと、ペットボトルでの備蓄がでございます。それ以外につきましては、今現在先ほど仰いました、貯水槽、今現在2基設置してございます。新たに1基を今、この市役所庁舎敷地内に工事発注済みでございます。</p> <p>それ以外につきましては、台風とかですと、限定的な場所になってきますので避難場所はですね。そうしますと、そこに対して、給水タンク車を用いまして、運ぶような格好になります。</p>
<p>袖澤議長</p>	<p>八千代市民20万人と考えると、小学校の25mプールは大体300㎡なんですけど、そうすると大体八千代市に6つか7つくらいそういうプールの大きさの貯水槽があれば、20万人、万が一八千代市全体が避難状態でも、完全なんです。1日3Lとして、3日間使う場合。先ほどの説明で、2つ用意されてるということなので、八千代市全体がそういう避難する場合はないと思うんですけど、2基あれば、まあまあ大丈夫かなっていうよう</p>

<p>佐藤上水道 課長</p>	<p>な感想を持ちました。</p> <p>現在稼働できているのが2基で、1基を追加で整備中でございます。 それぞれが、100m<sup>3</sup>の貯水能力がございまして、人数に換算しますと、 1万人の3日分ですね。</p>
<p>袖澤議長</p>	<p>他に何かご質問、ありますか。よろしいですか。では、他にないので、議題2「第2次八千代市水道事業経営戦略実施計画及び、第2次八千代市公共下水道事業経営戦略実施計画の令和3年度取組状況の報告について」を終了させていただきます。</p> <p>以上で本日の議題はすべて終わりました。</p>

【その他】

袖澤議長	事務局から他に何かありましたら、お願いします。
萩野経営企画課長	<p>本日はご審議のほど、ありがとうございました。次回の会議の開催について、ご報告させていただきたいと思います。</p> <p>今年度の審議会は、今回のみとなりまして、来年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を見ながらとなりますが、また開催が決まり次第ご連絡させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
梶原委員	<p>あとよろしいですかね。市民委員を代表して梶原と言いますが、ちょっと発言させていただきます。令和4年度の八千代市水道料金については、10月・11月分、12月・1月分、2月・3月分の検針分を対象に、現在の原油価格高における各種物価高騰に伴う負担低減を図る目的で、水道基本料金を免除するとのこと。私たち市民は、公共料金が1円でも安くなることは大歓迎でありまして、市民は嬉しい施策だと思っております。</p> <p>ここでちょっと要望したいことがあります。私の周りの市民の方々からは、この施策を知らない人もいましたので、より一層の事前周知をしていただきまして、市民の経済的負担感が、少しでも和らぎ、また家計を応援することになりますので、今後とも市民各層への周知の方ですね、周知方には万全を期して行っていただきたいと思っております。よろしくお願いします。</p>
袖澤議長	他にご要望、ご意見はありますか。よろしいですか。では、これをもちまして、令和4年度第1回八千代市上下水道事業運営審議会を閉会します。ありがとうございました。

以上